



おなかの中で、赤ちゃんは何を食べているの

必要な栄養はお母さんからもらっている

わたしたちが食べ物を食べるのは、食べ物の中の栄養分を使って、活動に必要なエネルギーをつくったり、体をつくったりなど、生きていくのに必要だからです。

もちろん、赤ちゃんも生きていますから、栄養は必要です。しかし、赤ちゃんはお母さんのおなかの中で、何かを食べているわけではありません。赤ちゃんは、自分の体に必要なものは、すべてお母さんからもらっているのです。

赤ちゃんの体は、「へそのお」でお母さんとつながっている

赤ちゃんは、自分の体に必要な栄養など、すべてのものをおなかの「へそのお」で、お母さんからもらっています。赤ちゃんの「へそのお」は、お母さんのおなかの中にある、たいばんにつながっています。

へそのおの中には、動脈と静脈という血管があり、静脈の中を流れている血液を通して、赤ちゃんに必要な栄養は、お母さんから送られ、赤ちゃんのいらなくなったものは、動脈の中を流れている血液を通して、お母さんに送られ、お母さんが捨ててくれているのです。

ですから、おなかの中の赤ちゃんは、何も食べていませんが、赤ちゃんが体を成長させたり、生きていくのに必要な栄養は、すべて、お母さんからもらっているのです。

(監修・保志 宏)

